

鶴城中だより

文責 校長 船津 巧 No.15

本気でやれば..

つかれがさわやかだから

「本気」 相田みつお

なんでもいいからさ
本気でやってみよう
本気でやれば
たのしいから
本気でやれば
つかれないから
つかれなくても
さわやかだから

交通教室開催

4月12日(水)、山鹿警察署から2人の警察官に来ていただき交通教室を開催しました。

自転車安全利用5則

- 一 自転車は車道が原則
 - 二 車道は左側通行
 - 三 歩道は歩行者優先
 - 四 安全ルールを守る
 - 五 子供はヘルメット着用
- この五つは絶対に守って欲しいことです。
もちろん、自転車通行可になっている歩道は通行で



きますが、歩行者の進行を妨げないように車道寄りを通行します。また、小さな子どもや老人は例外として歩道の通行がで

これは、相田みつおさんの「本気」という詩である。最初の一行「なんでもいいからさ」を変えてみよう。例えは、「体育大会」に...

少ない人数で、体育大会を成功させようと生徒会執行部が応援団リーダーが、よきこのリーダーが頑張っている。本年度テーマ「挑戦」やるからには全力で「挑戦」やる面から表現したことになるのではない。三年生は、中学校最後の体育大会を素晴らしいものにしたと張り切っている。去年の大会以上に感動の大会にしたいと

力を合わせ頑張っている。一方、後藤静香さんは、同じく「本気」という詩の中で「本気ですれば たいいな事ができる 本気ですれば なんでも面白い 本気でしていると だれかが助けてくれる 人間を幸福にするためにも 本気で働いているものは みんな幸福で みんな偉いと表している。

長い人生の中で、中学生や高校生の時以外に、本気で何かに打ち込むことはどれほどあるだろうか？

あの日から二年

4月16日(日)、熊本地震の本震からちょうど一年がたちました。授業参観日でしたので、朝から、全校生徒で震災による被害者に対する黙祷をしました。

集団宿泊教室

4月19日、20日の一泊二日で、一年生は集団宿泊教室に行き、菊池自然の家を拠点に活動を行いました。小国高校の生徒



1年生の理科授業

被災地の一日も早い復興を願いたいものです。さて、授業参観には、たくさんの方の保護者に来ていただき、一年生は理科の

も宿泊しており、朝夕の集いなどで交流ができたようです。観音岳登山では、疲れたくと連発していましたが、天狗杉では、楽しく遊びました。



火起こしにも挑戦し、起こした火で飯盒炊飯とカレーを作りました。

楽しい2日間で、10名の仲間と一層仲良くなれました。菊池少年自然の家のスタッフの皆さんお世話になりました。

